

七月二〇日

只今、十一時、のぞみ3号で広島を過ぎ博多に向けて走っている。十二時前博多着。忍田さんと昼食後デザインセンターにて打ち合わせ。その後、カンサイ本社にて打ち合わせ。十七時二十二分発新幹線。チヨムスキー世界を語る、再読了。

七月二十一日

昨日、東京は三十九度五分という観測史上最高の暑さであったらしい。地球温暖化、ヒートアイランド現象が入り混じった都市異常気象に突入しているのだろう。これこそ、まさに環境問題の最たるものであろうが、打つべき手があるのだろうか。都市緑化、屋上緑化以前に、都市生活そのもののスタイルを変えてゆく必要があり、それが第一なのだが、生活スタイルを変えてゆくのは個々人の価値観そのものを、修正しなければいけないのは自明の理である。それこそ改革せねばならないのは、個々人の意識、そしてそれを支えている無意識、つまり趣味の品格といった深層心理なのだろう。そういうレベルでは世田谷村のヤセガマンは良いとは思っているのだが、家族のクレームも又厳しい。しかし、この暑さはやはり問題だな。

十一時大学、森の学校打ち合わせ。十三時松尾建設、十四時昼食、今日もさぬきうどん、これじゃ、夏負けするよ。十九時迄大学雑事。

七月二十二日

今日、次女友美がアメリカに発つ。三年間の留学となる。早朝まで荷造りに追われていた。朝一番で車の国際ライセンスを取得し、午後三時にNRT発らしい。

十時厚生館現場、増築部分の姿が見えてきた。改築部契約立会い。八月二〇日過に完成予定。島倉二千六さんの空は盆明けの製作予定。社長若松氏との約束三〇分遅れで十三時過研究室。早く仕事を大学から全て移さないと、人間自体が駄目になるな。先生と言われる程のバカはナシ。建築家も時に先生と呼ばれるから、私の場合はダブルバカ、トリプルバカになりかねない。先生と呼ばれぬ様に努力しなくてはならない。只今、十二時二〇分、京王線で新宿に向かっている。友美はうまくNRTに向かっているかなア。あの子は私を色濃く継いだ娘だから、うまく育ってほしいが、誰も先の事はわからない。十三時過研究室。社長若松氏モスクワよりの帰りがてら寄つてくれて、打合わせ。八月のロシア、モスクワ大学訪問の件。松尾建設権藤氏来室。十五時半五反田トモ・コーポレーション定例会。十八時了。十八時四十五分大学研究室雑事指示。十九時もめん屋、集会。機械Bの先生方と建築の先生方。二十三時過修了。建築学科の若手先生方と話し合う。

木本一之君に頼んだ「さくら」。私の若いスタッフに作図させた。光その1、光その2、そして、ガウディもどきの鉄のツタ、島倉二千六さんの偽の空。フルーツ模様のラオスのペーパー等々。この（厚生館）建築では無意識の内のような意識の中のような、浮遊状態のままに幾つかの試みをしていた。

七月二十三日

昨日より、群馬左官大将森田さん親子、中沢兄弟が世田谷村の現場に乗り込んできている。いつも何の連絡もなしに、フツと現れて仕事しているのが、いかにもドン、森田兼次らしくて困ったものだが面白くもある。十一時乃木坂の白井版画工房。刷師の白井さんに中版の三点刷ってもらい、仕上げを試みる。ときの忘れもの・綿貫氏と会う。室内・塩野君も来る。昼食、眠々・民族食堂にて、コレは美味なラーメンとギョーザ。十九時すぎまで作業グツタリ。流石に研究室に帰る気力なく、野村・デービッドに新宿迄出てきてもらう事にして、二〇時新宿待ち合わせ。コーヒ―・シヨップで森の学校の打ち合わせ。なんとかアイディアをまとめる。私のこれまでの建築の中でも特別なものになるかもしれない。松崎町那賀川の河岸フェンスでの試み、現代っ子ギャラリのデザインを展開させたものになる。全体の形は無い。徹底して進もう。二十一時半修了。スタッフは御苦労さんだった。二十時半世田谷村に戻る。今日は精一杯だったが、幸脇さんとの打ち合わせに出られずに申し訳ない事をした。少し計りワガママさせてもらった。